

令和2年度 全体反省・評価

項目	内容	反省・評価
保育理念	①保育理念や保育方針を理解し、共感している ②職員や保護者の見やすい場所に掲示している ③保護者に配布物を通して、保育理念や保育方針を周知している	<ul style="list-style-type: none"> 保護者に見やすいようにファイルは置いているが、提示して、さらに見やすくしていくと共に、新年度を迎える前に見直しや確認を行い、保育士も理解を深めていけるようにする。
保育目的	①保育目標は、社会の要請や実態、地域性や保護者の願いを考慮し、反映している ②保育目標は、前年度の実践を活かし、全職員で検討し、かつ共通理解を図っている	<ul style="list-style-type: none"> 保護者からの要望や意見がある場合は、引き続き会議などを開き検討する機会を設け、報告できるようにする。 園長の考えや思いを非常勤を含めて全職員が把握できるよう、今以上に検討や話し合いの機会を設けていく。
指導計画	①各年齢の子どもの発達状況に配慮した指導計画になっている ②楽しい雰囲気の中で、安定して遊び込めるように遊具や用具・素材など、質・数量を配慮して環境構成を行っている ③保育所の生活における子どもの発達過程を見通し、生活の連続性・季節の変化等を考慮し、子どもにあった具体的なねらい及び内容を設定し、必要に応じて見直しを行っている	<ul style="list-style-type: none"> 玩具の整理をしたり、子どもの発達に合わせた環境設定の見直しが出来た。また、手作りおもちゃなどを作り、子どもたちが落ち着いて遊べる環境や、主体性を考えられるような環境作りをさらに目指していきたい。
保育内容	①子ども一人ひとりへの理解を受容しようと努めている ②子どもの基本的な生活習慣が身につくように積極的に活動できるように、環境を整備されている ③様々な表現活動が体験できるように配慮している ④身近な自然や社会とかかわれるような取り組みがなされている ⑤遊びや生活を通して、人間関係が育つよう配慮している	<ul style="list-style-type: none"> コロナにより、行事や活動が制限されているが、室内環境を整えたり、リズムを取り入れる等、園内で行える活動を考えることが出来た。来年度も同じような環境が予想されるため、体操やダンス等、身体を動かせる活動を取り入れていきたい。 一人ひとりと関わられるように努めてはいるが、噛みつきを防ぐことに集中してしまい、思うように関わりを持てなくなってしまう事がある。防止策を改めて考えるとともに、関わりに偏りが生じないよう配慮に努めていく。
保育・行事	①一日の流れ(ディリープログラム等)は現行で正しい ②行事の種類や実施計画は適切である ③計画・実施・評価・改善の体制がとられている ④保護者の願いや意見を取り入れている	<ul style="list-style-type: none"> アンケートを通して、保護者の意見や要望を聞き、検討し、報告できる体制を作ることが出来たが、コロナウィルスの影響で直接お話を伺うことが難しかった。保護者の考えや要望に、寄り添えるような環境づくりを出来るように、アンケートをとるなど工夫していきたい。
健康管理	①健康・安全な生活に必要な習慣育成の為、「園だより」「保健だより」などで情報を保護者に提供している ②乳幼児の安全確保のために家庭、地域社会、関係機関と連携を図っている ③感染症などを予防するマニュアルがあり、職員に周知し実行している	<ul style="list-style-type: none"> コロナ対策として行った玄関先での受け入れは、良かった。 マニュアルはあるが、いざという時にすぐ動けるように今後も研修を行っていきたい。 今年度より、保健便りの発信ができて良かった。 感染症の対応や予防について、職員間の捉え方が異なることがあったので、確認・共有を行い統一することで保護者に正しく対応できるようにする。
食事	①食事を通して子ども達が楽しく食べ、食べる意欲が育つように工夫している ②アレルギー疾患を持つ子に対し、主治医からの指示を得て適切な対応を行っている ③間違えないよう個別のトレーなどで分け調理師同士や保育士と確認している	<ul style="list-style-type: none"> 今年度から食育委員を作り、活動に力を入れることが出来た。ペープサートを見たり実物に触れるなどして、取り組みに色々な工夫がもてた。来年度は給食室と保育士で連携を取り、子どもたちがさらに食に興味を持てる環境を作っていきたい。
環境	①園内の清掃がなされ、清潔に保たれ、子どもが心地よく過ごせるように配慮している ②園内外の衛生面・安全面に配慮している ③園内に子ども達が季節感を味わえるような工夫をしている	<ul style="list-style-type: none"> 園庭に落ちている石やプラスチック等、気付いたときに拾ってはいるが拾いきれていないため、清掃日を設けるなど工夫が必要である。 園庭の遊具や玩具が古いため、見直しが必要である。 清掃のチェックリストは、フィルター掃除なども定期的に行えるように見直しをした。 季節感のあるペープサートや、掲示物と一緒に旬の食材のイラストを入れるなどして、さらに食べ物に関心が持てるようにしていきたい。
人権尊重	①子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てるように配慮している ②日本語によるコミュニケーションが困難な保護者に対して、園の意向や連絡事項が正しく伝わるように配慮している ③性差への先入観による固定的な概念や役割分業意識を植え付けないよう配慮している	<ul style="list-style-type: none"> お便り等の配布時には、ふりがなを振ったりマーカーで線を引いたり工夫をしていたが、口頭での丁寧な説明を心がけたい。 男女分けをしたり、色の概念を作らないように話し合いを行った。
子育て支援	①送迎の際の対話や連絡事項への記載などの日常的な情報交換に加えて、別に機会を作り、相談に応じる等、個別面談を行っている ②家庭の状況や保護者との情報交換が、必要に応じて関係職員に周知されている ③保育士は日常、保護者や子どもの様子に注視し、虐待の予防や早期発見に努めている	<ul style="list-style-type: none"> コロナで引き渡しの方法が変わり、情報共有や1日の様子を伝えることが難しかった。個人面談を通して、困ったことや悩んでいること等、些細なことでも話せるような環境を作りたい。また、立ち話をする際は、子どもと保護者のプライバシーを守れる配慮が必要である。

